

「未来の教室」実証事業中間報告： 川崎リビングラボ（社会福祉法人伸こう福祉会）



類型a

類型b

類型c

2次公募

事業概要

川崎リビングラボ×学び 共進プログラム (介護現場のオープンイノベーション)

リビングラボ化された介護施設（川崎リビングラボ）を新たな学び場として活用し、企業（作り手）と介護職員（使い手）が、価値創造と技術開発力（支援力）を涵養する人材教育プログラム（共進化型）を開発・実証します。

その過程で、学習対象者（企業、施設スタッフ、学生、他の社福、地域）に対して、社会インパクトとリンクした具体的課題の設定力、多職種を巻き込む力、個人のQoLを中心とした生活機能レジリエントサービスの開発力を育むことを目指す。

進捗状況と今後の展望

7月 リビングラボ活動（企業とのMT）

8月 基礎講座の内容検討・決定・調整 → 下記①②が決定

① 9月14日（木）企業（A郡）× 介護施設 基礎講座

② 9月25日（火）企業（B群）× 介護施設 導入機器説明会 + 基礎講座

リビングラボ活動（企業とのMT）

9月 賛同企業（全19社）×介護施設職員（介護・看護・栄養士・ケアマネ・事務）共進プログラムにて、PJの全体像の共有・意見交換会を実施！

本PJの全体像を確認しつつ、実際の製品・サービスを体感しながら、意見交換や双方の気づきの共有を行った事で新しい学びの土台ができた。

次ステップは、具体的に製品・サービスを活用してみても得た気づきや課題を、施設でABC理論に基づいて深め、企業・施設双方にとっての学びの場としていく。

参考①) 川崎リビングラボ (社会福祉法人伸こう福祉会)



類型a
類型b
類型c
2次公募

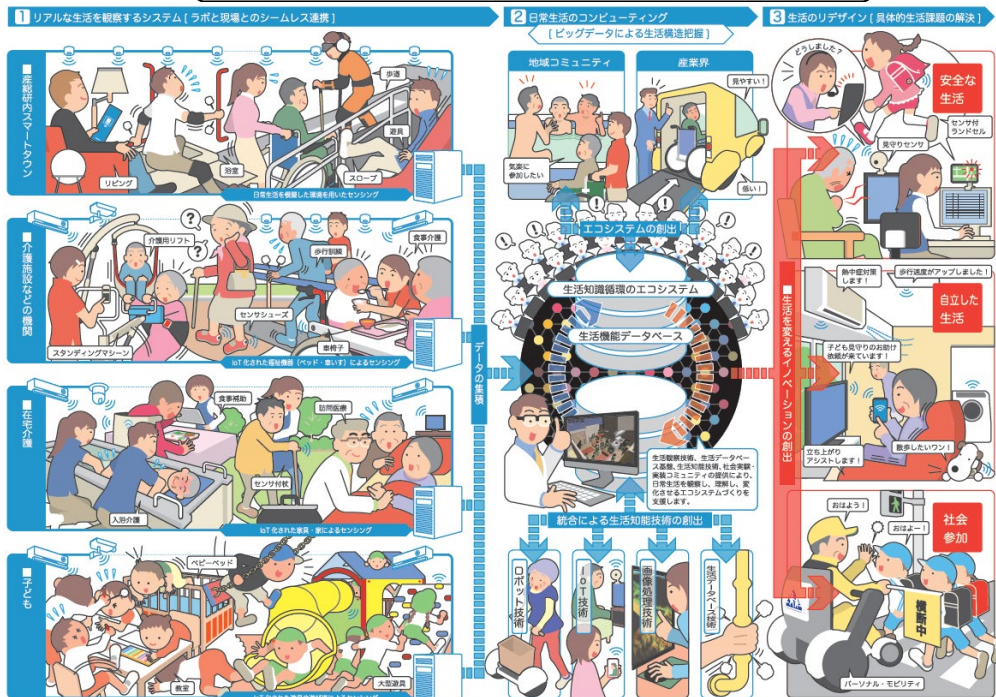
プロジェクト概要図

【具体的な活動の概要】



施設スタッフの“気づき”のみならず、企業様の気づきも促進させるため、“気づき”や改善提案の基礎となる発想力や思考力を身につける「気づきの頭」をつくるイノベーション発現サポートツール（学び）を導入。

目指す施設イメージ



参考②) 川崎リビングラボ (社会福祉法人伸こう福祉会)



類型a

類型b

類型c

2次公募

- 【2017年度】 (ビンテージソサエティプラットフォーム形成事業として)
フューチャーセッション・個別セッションを経て、19社の企業様に賛同頂く
オープンの場合、施設としての課題・ニーズの発表、企業様からのプレゼンテーション
- 【2018年6月】 (採択前 助走期間として)
第1回導入機器説明会
+
企業様⇔施設職員による意見交換会
- 【2018年6月】 意見交換会を通して得た気づきを基に、実際の現場に入居者の状態・ニーズに合わせて製品を配置
- 【2018年9月】 第2回導入機器説明会
+
共進プログラム オリエンテーション
企業様・施設が同じ目標同じ目線で「共進」する為の合同オリエンテーション
- 【2018年10月～】 基礎講座の実施 (企業様・施設職員)
各企業様ごとに、製品サービス導入をしている現場にてOJTを実施
各企業様 全3回前後を予定。
ABC理論に基づき、企業様の気づき・施設側の気づきを創出し学びとする
- 【2019年2月】 学生を交えた体験授業を実施予定。内容については検討中